

7月の 園便り



絵本 (岩波)
「ふしぎな たいこ」

令和2年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤 由美子

新年度を迎えて一週間ほどしか登園しなかった赤ばらさんたちが、6月から登園して、担任たちは、「また、一からやり直しだね」と4月はじめの状態からのスタートだと心づもりをしていたのですが、登園してきた赤ばらさんたちが幼稚園の生活の流れを覚えていて、順応していることに驚いていました。「みんな覚えていたんです」「すっかり忘れていただろうと思っていたのにできたんです」と担任たち・・・生活の流れが定着していたことに驚きでした。赤ばらさんはまだ周りが見えなくて、無我夢中の状態で遊ぶ赤ばらさんでしたが、次第に周りをはっきり見えてきて、「やりたいことをやろうとすると誰かが邪魔をする」「使いたいおもちゃを誰かが使っていた・・・」「ブランコ乗りたいのに誰かが乗っていた」等々、思い通りにならないことを経験していきます、これぞ集団生活における学習です。「これ使いたい」と言うと、友だちも「これ使いたい」と言う・・・思いが同じ＝思いがぶつかる・・・だから実力行使に出る、叩いたり、蹴ったりひっかいたりが多くなってきます。さあ、ここでどうしたら叩かなくても遊ぶことがこれは言葉がまだ十分ではないので当然のこと、言葉で言えるようになるのが年長ですから。担任たちは子どもたちが手を出さざるを得ない気持ちを言葉にするために「今は〇〇だったの?」と聞いて言葉にしていきます。自分の気持ちを言葉で言えるようになるまでは長い長い時間がかかります。やがて子どもたちが自分で言えるようになるように願いを込めながら一人一人丁寧に気持ちを聞いていきます・・・待っていてくださいね、言葉で言えるようになる日を・・・

カラスノエンドウの豆を笛にすることができるのをそうすけ君のお母さんから教えていただいたと、子どもたちがピーと鳴らしていたので、私も早速カラスノエンドウを取って、片側を開いて豆を取って、筋も取って吹いてみました・・・スー あれ? 鳴らない スー スー ところが突然“ピー”と鳴りました。嬉しくて職員室の扉を開けて拭いていると、中にいた保育者にシー!・・・そうそう、お昼寝の子がいたのでした・・・失敗、失敗・・・いい年をして嬉しくなって、誰かに聞いてもらいたくて、吹いてしまった・・・反省しながら、そういえば、わが子が小さい時にこんな場面があったな～と思いだしました。

夏のある日の早朝、散歩から帰ってきた娘が「ママー 朝顔さいたよー!」と玄関のドアを開けて教えてくれました。台所から急いで玄関に出た私の最初の言葉が「シー、小さい声でね! お隣のお家の人たち、まだ寝てるから・・・」でした。朝顔が咲いた娘の喜びに共感する言葉を先に言わなければならなかったのに・・・子育てのころの自分の言動の一つ一つに、今でも胸が痛みます。幼稚園の子どもたちにはこんな思いをさせてはいけないと思いつつ・・・一日いちにちを丁寧に過ごしていきたいと思います。

7月の予定

日	曜	給食	降園時間	行 事
1	水	○	2:30	
2	木	○	2:30	おしゃべりの会を行います。
3	金	○	2:30	
4	土			
5	日	/	/	
6	月	○	2:30	
7	火	○	2:30	
8	水	×	11:30	誕生会です、7月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。
9	木	○	2:30	
10	金	○	2:30	
11	土			
12	日	/	/	
13	月	○	2:30	
14	火	○	2:30	
15	水	×	11:30	誕生会です、8月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。
16	木	○	2:30	
17	金	○	2:30	
18	土			
19	日	/	/	
20	月	○	2:30	
21	火	○	2:30	給食最終日です。
22	水	×	11:30	第一学期終業式です。帰りの時間が早いですがよろしくお願いします。
23	木	/	/	海の日
24	金	/	/	スポーツの日
25	土	/	/	
26	日	/	/	
27	月	/	/	
28	火	/	/	
29	水	/	/	
30	木	/	/	
31	金	/	/	